

ご挨拶

藤が丘病院 院長 眞田 裕

今年の7月、藤が丘病院は開設以来40年目に入ります。この39年間、当院は横浜市北部の基幹病院として市民の皆様の健康を守ってまいりました。また、平成2年からは、隣接する藤が丘リハビリテーション病院と手を携え、医育機関昭和大学の教育病院として幾多の医療人を輩出してきましたことも、私たちの大いなる誇りであります。



近年の医療の進歩はめざましく、開設当時には無かったCT・MRI装置、心臓カテーテルなどの血管内治療やリニアック放射線治療装置などの先進機器の配備は、基幹病院・教育病院として必須となっています。当院はその都度工夫して必要なスペースをつくり、大型機械を導入してまいりましたが、それらの配置位置は理想的とは言えず、効率的な診療に支障をきたすに至っています。向後、電子カルテや複数の放射線治療機器、さらにはハイブリット手術室などを配備する必要がありますが、この古い革袋にさらなる新酒を詰

め込むには無理があり、近いうちに病院再整備を考えなくてはなりません。

一方、青葉区など横浜北部地区も高齢化が進み、市民の皆様が住み慣れた地域を離れることなく、医療と介護がシームレスに機能することが要求されています。国会で審議される「医療・介護総合推進法案」は、地域単位で超急性期・急性期・回復期・慢性期の4つの機能ごとに必要病床数を定め、これらの機能に合わせて患者さんが病院間を転院し、あるいは介護施設に移動し、さらには自宅で在宅医や訪問看護や介護支援を受けられるように企画されています。地域の病院、診療所、介護施設などの医療資源の有効利用を総合的に考えるなかで、藤が丘病院、藤が丘リハビリテーション病院が担う役割は何なのか、また、昭和大学4学部の医療人育成に私たちの病院はどのような役割を担うのか、職員の皆様の英知を集めたいと思います。

本年もよろしくお願ひ申し上げます。

平成26年度の抱負

藤が丘リハビリテーション病院 院長 三邊 武幸

平成25年4月、藤が丘リハビリテーション病院院長に就任し、多くの皆様の応援で無事に過ごすことが出来ました。リハビリテーション病院は平成2年6月1日に開院し、今年の6月で24歳になります。今回は、平成26年度のリハビリテーション病院の新しい計画をお話します。今年の新規事業は、教育実習病院の拡大と研究所(新規診療部門)です。



【教育実習病院に関して】

4月から保健医療学部の教育実習病院(平成27年度全面スタート)の準備(システムと施設整備)をいたします。副島和彦保健医療学部長はホームページの学部長御挨拶で、「保健医療学部では医系総合大学の特色を生かし、医歯薬との連繫を密に教育を行い、……超高齢化社会でのニーズに応える医療・保健・福祉の全領域の専門家で患者に直接接する看護師・保健師・助産師・理学療法士と作業療法士を育てます。」と述べられています。藤が丘リハビリテーション病院は、保健医療学部の看護師・保健師・助産師・理学療法士と作業療法士の教育実習病院として副島和彦保健医療学部長の提案を具体的な形にしたいと思ひます。

【研究所(新規診療部門)】

平成27年4月、藤が丘リハビリテーション病院に昭和大学スポーツ科学研究所を開設します。研究所開設前年の平成26年4月1日から、院内にスポーツ健康クリニックを開設いたします。現在準備のため大学本部、医学部・薬学部・歯学部・保健医療学部・富士吉田教育部・各付属病院と検討を重ねています。

目的

教育関係

- ・平成27年度から富士吉田教育部の新入生(医部・歯学部・薬学部・保健医療学部)にスポーツ科学に関する教育を行います。
- ・大学院-大学院保健医療学研究科に「スポーツ科」を設置します。
- ・スポーツ健康クリニックに臨床研修コースを設置します。

クリニック概要

- ・アスリート スポーツ外来:肩、肘、膝を中心に開設。
- ・健康スポーツ外来:運動療法外来。
- ・リハビリ部門:アスレチックリハ・心臓リハ。
- ・歯科スポーツ外来:外力による歯列の保護、顎発育を中心。

以上が、平成 26 年度リハビリテーション病院の新しい計画です。この計画を進めるためには、大学本部・医学部・薬学部・歯学部・保健医療学部・富士吉田教育部・各付属病院スタッフと、病病連

携医、病診連携医、地元医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆様の御理解と御協力が必要です。今年も御指導よろしくお願いたします。

ご挨拶

横浜市青葉区医師会 会長

山本 俊夫

日頃より昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の先生方にはお世話になっております。この場をお借りして御礼申し上げます。

さて、横浜市の人口は現在 370 万人となり青葉区も 30 万人と増えています。その内高齢者の割合は 20% を占め、今後その割合は増え続け、20 年後には 30% になると試算されています。医療・介護の面において、今後国は高齢者の見取りを病院ではなく、在宅或いは老人ホームへと移行させる方針であると聞いています。我々医師会としては、それに対応すべく地域包括ケアシステムの構築に取り組み始めました。

地域包括ケアシステムを簡単に説明いたしますと、区民一人一人に対して、生まれて亡くなるまで多職種の方々が関わり区民がこの地で快適に暮らしていけるシステムのことです。その多職種の中には衣食住に関わる職業の方々や我々介護・医療に関わるものなど多岐に渡ります。

ここで医療・介護に目を向けますと、我々は外来に来院した患

者さんを主体に考えがちです。しかし、在宅で診なければいけない患者さん、予防医学的に現在はまだ病気を発症していない方々の健康管理など、行うべきことは多々あります。

このように区民の生活をより良いものとするために、地域包括ケアシステムに関わる歯科医師、薬剤師、看護師、介護士、ケアマネージャー、ヘルパーさん、地域ケアプラザの方々との連携が必要になってきています。現在そのシステムを構築途中ではありますが、ここで一番の要となるのは入院施設のある地域の病院です。これからは病院と地域包括ケアシステムとの関わりを考えていく段階にきていると思われま

す。高度医療、地域医療を牽引して頂いております昭和大学藤が丘病院・昭和大学藤が丘リハビリテーション病院の先生方には、今後とも、御指導御協力のほどよろしくお願いたします。



8 階東病棟の紹介

～安全重視のチーム医療の実現に向けて～

8階東病棟は内科系混合病棟で、主に腎臓内科・循環器内科で構成されています。腎臓内科は急性・慢性腎不全患者の血液透析、腹膜透析の導入や管理指導、膠原病などの自己免疫疾患など患者層は幅広く、循環器内科は心不全や心臓カテーテル治療などを多く受け入れています。

今年度は、病院の方針でもある緊急患者を断らない混合病棟を目指して、スタッフ一丸となり診療科を問わない緊急入院の受け入れを、安全性を重視しながら推進してまいりました。一方で腹膜透析や血液透析導入など、専門性の高い治療における患者指導や、退院後の社会資源の活用推進にも力を注いでいます。特に腹膜透析に関しては病棟、外来、透析室など部署を越えて患者サポートを行うPDプロジェクトチームがあり、月に1回のカンファレンスを開催し、継続した安全な治療と看護の提供を行うために頑張っています。

また、今年度の病棟の運営目標として、『医師・看護師間でのコミュニケーションエラーによるインシデントをなくし、手順を遵守した安全かつ質の高いチーム医療を提供します』を掲げ、指示出し指示受け業

務の手順遵守に向け、医師と問題点を共有しながら安全な療養環境の提供に努めてまいりました。

今後も8階東病棟は、昭和大学の目指すチーム医療をより深く質の高いものとするために更なる努力をしていきたいと思



(8階東病棟師長 樋口恵子)

【院内サークル巡り 2】

都市の見え方を楽しむ

社会科見学同好会

私達は、ぶらぶら街歩きを30年ほど前から小集団で続けてきました。それはテレビ番組の『プラタモリ』や『めざまし』に近いものがあります。その根底には、今和次郎の「考現学」、赤瀬川原平の「路上

観察」、「トマン」、藤森照信の「建築探訪」があり、さらに「都市計画」、「歴史」、「祝祭」、「アート」と様々なものを吸収しながら多面的に「都市の見え方を楽しむ」という目的があります。

現在の社会科見学同好会の名称は工場見学など、従来の活動のコンセプトに「企業」や「経済社会」を取り込んだものです。遠足気分で子供連れの参加者も増え、会員数 160 名の大集団となりました。人気の工場見学には 100 人もの参加希望が集まり、にぎやかです。

しかし、裏方は訪問先との交渉、分割実施、個人の参加日程調整、引率など力仕事満載です。年二回のバスや船貸切の大きなイベントのほか、従来の街歩き的活動も大切にしたいと思います。興味のある方、参加大歓迎です。

(代表 臨床病理検査部 矢澤 直行)



平成 26 年 2 月 2 日 いばらきの社会科見学バスツアー

第 10 回藤が丘地域連携フォーラムを開催して

平成 26 年 1 月 9 日(木)、藤が丘病院にて第 10 回藤が丘地域連携フォーラムを開催いたしました。平成 23 年 9 月から始まりました藤が丘地域連携フォーラムも今回で 10 回目を迎えました。

今回も大勢の皆様にお集まりいただき、地域医療機関の先生方や関係者の皆様 49 施設 75 名、昭和大学藤が丘病院関係者 106 名の合計 181 名の方々にご参加いただきました。今回は第 10 回の記念開催として、講演会では汐田総合病院 協会理事長の窪倉孝道先生に「これからの医療介護連携と病院の役割～政策動向と地域での取り組みから～」という演題でご講演いただきました。

今後一層関心が深まる医療介護連携についてお話をいただき、参加いただきました皆様からも大変好評でした。



講演会に引き続き、立食形式での懇親会を開催しました。各テーブルとも、とても賑やかに会話が弾んでいました。



当フォーラムでは、各診療科医師をはじめ看護師、コメディカル、メディカルソーシャルワーカー、連携担当事務等、当院スタッフも多数参加しております。

次回、第 11 回地域連携フォーラムは、4 月開催を予定しております。多数のご参加を心よりお待ちしております。

(地域医療連携室 成田 絢子)

ブラック・ジャックセミナー開催される

平成 26 年 1 月 11 日(土)、藤が丘病院にて、ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社との共催で「ブラック・ジャックセミナー」が開催されました。これは、将来の医療を担う人材の育成を目的とする職業体験セミナーです。今回は、横浜市青葉区周辺の小学生 43 名が参加しました。

ブルーのオペガウン一式に身を包んだ小さなブラック・ジャックたちは、田中淳一教授をはじめとする消化器・一般外科、消化器内科、麻酔科、救急医学科の医師および看護師の指導のもと、最新の医療機器を使って、模擬手術や内視鏡トレーニング、心肺蘇生などを体験しました。実際の手術室で行われた模擬手術では、「とりくとりお」さんの「とりくく切除術」と称する超音波メスでの「腫瘍」切除に取り組みました。小学生の皆さんが真剣な眼差しで奮闘する姿や、医師たちが「僕より上手だね」などと声を掛けながら楽し

んでいる様子が印象的でした。

体験終了後は、田中教授より終了証と記念品が一人一人に手渡されました。藤が丘病院では、今後も引き続き、このような職業体験を実施していく予定です。



(医事第一課 松尾 悠)

サクラサク弁当

大学受験の季節も大詰めを迎えています。商品棚には、この時期に向けて語呂合わせをしたチョコレート菓子やスナック菓子が多く並び、受験生や親たちは縁起を担いで買ってしまいます。我が家の子供たちにはもう関係なくなりましたが、当時を振り返ると、受験日には縁起を担いだ弁当を作ったものです。「テキ」に「カツ」でステーキとトンカツというのが多かったように思います。最近のネット上では、「油っばいものは胃にもたれるので試験当日は避けたほうが良い。」などといわれていますが、娘が受験した当時は、昼の時間には前後左右どこを見てもカツサンドを食べている……そして自分も……なんて笑えない光景もあったようです。そこで考え出したのがこの「サクラサク弁当」です。混ぜご飯の上に桜の生麩を飾りトンカツが添えてあるだけのものですが、子供にはウケが良かった。写真を見ながら当時を懐かしく思い出している。



(藤が丘病院栄養科 玉木 大輔)

診療統計 2013年12月・2014年1月

	藤が丘病院		リハビリテーション病院	
	2013年12月	2014年1月	2013年12月	2014年1月
外来患者数	31,326人 (1362.0人)	31,375人 (1364.1人)	4,787人 (208.1人)	4,913人 (213.6人)
入院患者数	15,121人 (487.8人)	14,490人 (467.4人)	5,728人 (184.8人)	5,237人 (168.9人)

()は1日平均

《編集後記》

藤が丘病院と私はほぼ同い年です。藤が丘病院の歴史と自分を重ね合わせて、いとおしく病院を眺めています。院内を巡れば、その老朽化は隠すことができません。真田院長のおっしゃる通り、最新の医療機器を詰め込むには、だんだんと無理が出てきているかもしれません。私も同様です。でも、まだまだ、高度な医療と楽しい病院だよりを提供できるよう頑張ります。 高橋良昌

《編集委員》

高橋 寛	佐々木 春明	水間 正澄
小岩 文彦	高橋 良昌	堤 博志
大塚 幸彦	吉原 利栄	辻本 さなえ
林 好彦	松尾 悠	飯田 八代枝
有本 由布子	高橋 良治	(順不同)

医療機関の方へ

地域連携医療機関として登録しませんか

平成26年4月1日より、地域連携医療協力機関制度が開始となります。本制度は地域の医療機関と協力して、患者さんに最適な質の高い医療を提供するため、相互に緊密な医療連携を図ることを目的としております。是非、多くの医療機関にご登録いただければと考えております。登録方法や詳しい内容等につきましては当院地域医療連携室へお問い合わせください。

なお、現在行っている、連携協力医制度にご登録いただいている先生方につきましては、別途案内をお送りさせていただきます。(連携協力医制度は平成26年3月31日で廃止となります。)

問い合わせ先

昭和大学藤が丘病院 地域医療連携室
045-974-6701(直通)